

平成16年度経済産業省委託事業
廃棄物等処理再資源化推進
(循環型社会システム動向調査)

「産業廃棄物(鉱業廃棄物)・有価発生物の動向調査」

業種別調査結果(平成15年度実績)

平成17年3月

財団法人 クリーン・ジャパン・センター

はじめに

我が国の産業界では、産業廃棄物の発生抑制・減量化・リサイクルに積極的に取り組んでいますが、十分な状況にあるとは言えず、そのさらなる推進が望まれています。

また、適切な減量化・リサイクル促進施策を計画、推進するためには、業種毎あるいは産業廃棄物・有価発生物の種類毎に、その発生、減量化、再資源化、最終処分等の動向を把握することが必要です。

本報告書は、全国の製造業、電気業、ガス業から発生する産業廃棄物・有価発生物、並びに鉱業から発生する鉱業廃棄物・有価発生物について、その発生、中間処理減量、再資源化、最終処分等の状況を調査し、各種の解析を行ったものです。

本調査の実施に当たり、ご回答・ご協力をいただいた事業所並びに関係業界団体、他関係者各位に対して、深く感謝いたします。

平成17年3月

財団法人クリーン・ジャパン・センター

目 次

第一編 調査フレーム

1. 調査の目的、範囲	3
2. 調査、集計、拡大推計の方法	3
3. 調査対象期間	3
4. 調査の実施体制	3

第二編 調査の方法

1. 「産業廃棄物・有価発生物」、「鉱業廃棄物・有価発生物」の定義と マテリアルフローの捉え方	7
1-1 「産業廃棄物・有価発生物」の定義とマテリアルフローの捉え方	7
1-2 「鉱業廃棄物・有価発生物」の定義とマテリアルフローの捉え方	9
2. 調査の手順	11
2-1 調査対象業種	11
2-2 調査対象事業所の抽出	11
2-3 調査票の発送	14
2-4 回収調査票の点検、精査	14
2-5 単純集計、拡大推計	22

第三編 調査結果（製造業、電気業、ガス業）

1. 業種分類別の調査結果	27
1-1 調査対象業種	27
1-2 調査対象事業所の抽出	27
(1) 団体経由調査	27
(2) 直接調査	27
1-3 回収結果	28
(1) 業種分類別の回収状況	28
(2) 業種分類別の単純集計値	29
(3) 業種分類別のカバー率	30
1-4 業種分類別の拡大推計結果	31
(1) 産業廃棄物・有価発生物の定義別の量	31
(2) 産業廃棄物・有価発生物のマテリアルフロー量	33
(3) 産業廃棄物・有価発生物の処理状況	35

(4) 再資源化物量、最終処分量の内訳	36
(5) 産業廃棄物・有価発生物の推移	38
1-5 発生量の多い5業種の処理状況	41
(1) 主要5業種の特徴について	41
(2) 主要5業種の発生量の内訳	42
(3) 主要5業種の間接処理減量の内訳	42
(4) 主要5業種の再資源化量の内訳	43
(5) 主要5業種の最終処分量の内訳	44
2. 廃棄物種類別の調査結果	45
2-1 廃棄物種類別の拡大推計結果	45
(1) 産業廃棄物・有価発生物の定義別の量	45
(2) 産業廃棄物・有価発生物のマテリアルフロー量	45
(3) 産業廃棄物・有価発生物の処理状況	47
2-2 業種分類別、廃棄物種類別の拡大推計結果	48
(1) 発生量の多い5業種の種類別発生内訳	48
(2) 業種分類別、廃棄物種類別の発生量	49
(3) 業種分類別、廃棄物種類別の中間処理減量	49
(4) 業種分類別、廃棄物種類別の再資源化量	49
(5) 業種分類別、廃棄物種類別の最終処分量	49
2-3 発生量の多い5種類の処理状況	58
(1) 主要5種類の特徴について	58
(2) 主要5種類の発生量の内訳	59
(3) 主要5種類の間接処理減量の内訳	60
(4) 主要5種類の再資源化量の内訳	61
(5) 主要5種類の最終処分量の内訳	61
3. 業種毎の分析結果	63
3-1 食料品製造業	63
3-2 飲料・たばこ・飼料製造業	67
3-3 繊維工業	71
3-4 衣服その他の繊維製品製造業	75
3-5 木造・木製品製造業	79
3-6 家具・装備品製造業	83
3-7 パルプ・紙・加工品製造業	87
3-8 印刷・同関連業	91
3-9 化学工業	95
3-10 石油製品・石炭製品製造業	99

3-11	プラスチック製品製造業	103
3-12	ゴム製品製造業	107
3-13	なめし革・同製品・毛皮製造業	111
3-14	窯業・土石製品製造業	115
3-15	鉄鋼業	119
3-16	非鉄金属製造業	123
3-17	金属製品製造業	127
3-18	一般機械器具製造業	131
3-19	電気機械器具製造業	135
3-20	情報通信機械製造業	139
3-21	電子部品・デバイス製造業	143
3-22	輸送用機械器具製造業	147
3-23	精密機械器具製造業	151
3-24	その他の製造業	155
3-25	電気業	159
3-26	ガス業	163

第四編 調査結果（鉱業）

1.	調査対象業種	169
2.	調査対象事業所の抽出	169
3.	回収結果	169
4.	業種分類別の集計結果	169
4-1	鉱業廃棄物・有価発生物の定義別の量	169
4-2	鉱業廃棄物・有価発生物のマテリアルフロー量	170
4-3	鉱業廃棄物・有価発生物の処理状況	171
	(1) 業種分類別の特徴について	171
	(2) 業種分類別の発生量の内訳	172
	(3) 業種分類別の中間処理減量の内訳	173
	(4) 業種分類別の再資源化量の内訳	173
	(5) 業種分類別の最終処分量の内訳	174
4-4	鉱業廃棄物・有価発生物の推移	175
4-5	各業種の種類別発生内訳	176
5.	業種毎の分析結果	177
5-1	金属鉱業	177
5-2	石炭・亜炭鉱業	181
5-3	石灰石鉱業	185

第五編 調査結果（熱回収）

1. 調査対象	191
2. 熱回収の実施状況	191
3. 熱回収原単位	192

参考 調査票（製造業）

（参考1）「製造業用（業界団体経由調査分）」調査票（A）	197
（参考2）「製造業用（業界団体経由調査分）」調査票（B）	198